

令和５年度 指定管理者モニタリング報告書

施 設 名	加東市東条文化会館
施設所在地	加東市天神66番地
指定管理者	名 称 株式会社五洋産業・特定非営利活動法人新しい風かとう 代表者 住 所 加東市天神66番地（代表団体の住所）
モニタリング の実施方針 ・ 方 法 等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握した。 次のとおり、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントした上で、モニタリングの「総合コメント」及び「今後の改善に向けた考え方」を記載した。
担 当 課	教育振興部生涯学習課 Tel0795-43-0545 担当者氏名 大西 直美

1 総合コメント

協定書等の基準を遵守し、適正に遂行できている。

日本木管コンクール（クラリネット部門）は、昨年度に引き続き予備審査をビデオ審査にするなどし、密を避ける工夫を施して開催、参加者も前回のクラリネット部門の開催時より増加していることは評価できる。

また、自主事業においては、ホールの特徴を活かしたコンサートを企画するとともに、引き続き運営ボランティアを活用して経費の削減に取り組むなど、運営努力をされている。

併せて、子どもたちが参加できる新たな事業を行ったり、東条学園だけでなく市内の中学校や文化活動団体等と積極的に連携して事業を実施していることも含め、「学術文化の振興を図り、魅力ある豊かな地域社会形成に寄与する」という当館の設置目的を果たすための取り組みがなされているものと評価する。

2 今後の改善に向けた考え方

参加者が増えるような事業を企画、実施できていることは評価できるが、収支が赤字となっている。魅力のある事業で収入を増やせているものの、支出も増額となっており、バランスが取れていない。引き続き補助金等の財源確保に努めるとともに、チケット金額の見直しや、さらに集客力のあるイベントや市民の文化活動において、交流・発表する事業を展開し、綿密な収支計画を持って事業を実施していく必要がある。

併せて、SNSやホームページを含め、広報に注力いただきたい。

引き続き、ホールの活用方法を検討し、ホール稼働率を上げる取組を行うとともに、市民に愛される施設となるような運営を図ってもらいたい。

また、当館の音響に関する専門家の評価を活かし、市外からの利用者、参加者を増やせるような事業実施も視野に入れ、運営を行ってもらいたい。

3 業務の履行状況について

指定管理者が行う事業・業務はおおむね達成できている。

自主事業においては、以前から人気のあるこどもオペラや、地域の文化活動団体との共催でコンサートと生け花のコラボ公演を行うなど、ホール稼働率を上げるための努力をされている。

また、SNSやホームページも、以前よりしっかり活用し、広報に努められている。

なお、ホールの稼働率も年間利用者数も前年度よりも増加している。

これは、より多くの方が参加したいと思えるような事業が実施できたということであり、市民が文化・芸術に触れる機会を提供できていると評価する。

【参考】

東条文化会館

	R1	R2	R3	R4	R5
ホール稼働率	41.5%	27.4%	34.6%	30.0%	36.1%
利用者数	11,498人	3,013人	3,506人	5,583人	12,053人

4 サービスの質について

コスミックホールの特徴、響きを活かし、音楽を中心にしながらも、多様で多彩な舞台芸術事業の公演を企画するよう努力されており、評価できる。施設面においては、適切に管理され清潔に保たれている。

利用者アンケート調査を行い、事業に対する満足度においては約98%以上の方が満足と答えており、イベント内容において評価は良好である。次年度以降についても、利用者アンケート調査の意見を反映した事業展開に取り組んでいくことを望む。

5 収支状況等について

光熱費や交通費、人件費等の高騰が影響する中で、寄付金や補助金の獲得に努めるとともに、運営ボランティア活用による人件費の削減などに取り組んでいるものの、最終決算が赤字となってしまっている。ホールの稼働率や利用者数が増加し、それに伴い収入も増加しているが、事業実施に伴う支出も大きく、今後バランスの取れた経営ができるように改善が必要である。